

一般社団法人 北海道農業建設協会 御中

北海道農政部農村振興局事業調整課  
技術管理担当課長

施工パッケージ型積算方式に関する留意事項について

道営農業農村整備事業の実施にあたりましては、日頃よりご理解とご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

さて、道農政部では積算基準日が平成29年11月1日以降のものから施工パッケージ型積算方式を適用しておりますが、入札参加者が積算単価を算出する際に計算過程において端数処理を行ったため入札時に差違が生じている事案が発生しています。

この件については、「施工パッケージ型積算に関する地方説明会」（平成29年11月～12月開催）においてQ&Aの中で説明を行ったところですが、あらためて各（総合）振興局の入札公告時などに留意事項として入札参加者へ周知していきたいと考えております。

つきましては、貴協会からも会員の皆様に留意事項について周知いただきますようご協力をお願いいたします。

## 記

### 1 留意事項

Q：道農政部の積算システムでは施工パッケージ型積算の積算単価算出にあたり、補正式の計算過程で端数処理等は行われるのか。

A：補正式の計算過程では端数処理は行いません。

※なお、積算単価は計算後、整数以下を切り捨てとしている。

### 2 発生事案のイメージ

#### 【施工パッケージ単価算出】

(例) 基面整正

$$396 \times \left[ \frac{100}{100} \times \frac{16,300}{19,800} \right] = \boxed{326} \quad (\text{正解})$$

※電卓で $16,300 \div 19,800$ を計算すると  $0.8232323\dots$  となるが、電卓の有効桁として端数処理がされる場合があり、仮に $0.8232323 \times 396$ と計算すると  $325.99999$  となるため、積算単価は整数以下切り捨ての  $\boxed{325}$  (誤り) となる。このため、 $326 - 325 = 1$ 円の差違が生じる。

担当：主幹（施工技術）  
電話：011-231-4111  
(内線 27-158)